観光社会資本の事例

テーマ	沼津港の眺望を活かした賑わい創出への取り組み
【施設の状況写真】
<p>沼津港 遠景</p>	<p>大型展望水門「びゅうお」</p>
<p>富士山を背後に仰ぎ、眼前に駿河湾が広がる沼津港は、全国有数の水揚げを誇る魚市場を有すると共に、西伊豆方面への海の玄関口としても賑わっている。</p>	<p>沼津港航路水門「びゅうお」は、東海地震などで想定される津波から市民を守るために建設された。水門には展望回廊が併設されその眺望の良さから、多数の方が訪れている。</p>
【施設の利用写真】
<p>びゅうおの展望室 利用状況</p>	<p>沼津港周辺 飲食店街の賑わい</p> <p>沼津～戸田～土肥の定期船</p>
<p>“びゅうお”は平成16年9月にオープンし、その眺望を楽しみに多数の観光客が訪れており、平成17年5月には利用者数10万人を突破した。また、港周辺には多数の飲食店が店を構え、賑わいを見せている。</p>	<p>沼津港は西伊豆方面への海の玄関口となっており、戸田、土肥を結ぶ定期航路が発着している。</p>
【観光資源としての利用状況】	
<p>駿河湾の湾奥に位置する沼津港の背後には富士山がそびえ、目の前には駿河湾が広がっています。そして、全国有数の水揚げを誇る魚市場を有すると共に、西伊豆方面への海の玄関口としても賑わっています。</p>	
<p>平成8年から津波対策のために開始された海岸（高潮）事業による水門整備に併せて、沼津市事業による展望施設が併設され、平成16年9月に完成しました。</p>	
<p>水門の愛称は一般公募により「びゅうお」と名付けられ、展望室から見える360度の眺望を楽しみに多数の観光客が訪れており、平成17年5月には利用客数が10万人を突破しました。</p>	
<p>「びゅうお」は沼津港の新たなランドマークとして、また市民の生命と財産を守る施設として期待されています。</p>	

テーマ	沼津港の眺望を活かした賑わい創出への取り組み
<p>【社会資本の基礎データ】</p> <p>名称 沼津港</p> <p>所在地 静岡県沼津市</p> <p>事業名 沼津港海岸（高潮）整備事業</p> <p>事業主体 静岡県</p> <p>事業期間 平成8年度～</p>	
<p>【社会資本の役割・効果】</p> <p>防護</p> <p>沼津港の背後は約50haの低地盤帯には商店街や民家が密集し、約9,000人の方々の生活基盤となっています。</p> <p>そのため、近い将来発生が危惧されている東海地震等による津波から人命・財産を守るため、沼津港においては海岸（高潮）整備事業を実施しており、水門（びゅうお）をはじめとした海岸保全施設の整備が現在も進められています。</p> <p>水門の扉体は幅40m、高さ9.3m、重量は406tと日本最大級の施設です。</p> <p>展望施設</p> <p>水門に併設された展望回廊からは富士山、南アルプス、箱根連山、駿河湾など、360度の眺望を楽しむことができ、沼津港における貴重な観光資源としても利用されています。</p>	
<p>【位置図】</p> <p>The map shows the location of Numazu Port (沼津港) relative to the city center. Key landmarks include JR Numazu Station (JR沼津駅), the City Office (市役所), and the port area (沼津港) which is circled in red. The map also shows major roads like National Route 1 (国道1号) and National Route 4 (国道4号), and the Sagami River (駿河川).</p> <div data-bbox="798 1422 1444 1635" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>現地への交通手段</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JR沼津駅（東海道線）南口からバス約10分 （伊豆箱根バス、沼津登山東海バス） ・ 東名高速道路・沼津ICから30分 </div>	
<p>【関連ホームページ】 沼津市役所HP http://www.city.numazu.shizuoka.jp/index.htm</p> <p>沼津観光協会HP http://www.numazu-mirai.com</p>	